

事例5-8

取組名	自治会アプリ「JichiNavi」の導入による町会運営の効率化		
町会名	わだ い げ 和田衣外町会（和田地区）	町会 データ	・人 口／256 人 ・世帯数／89 世帯 ・高齢化率／29.3％ ・町会加入数／76 世帯 ・常会数／なし ・隣組数／8 組
取組概要	○ 自治会アプリ「JichiNavi」を導入し、回覧文書や行事案内の発信、行事への参加アンケート、災害時の安否確認、施設予約などに活用		

背景・課題

- ・ R6年度に、同じ地区の和田西原町会が自治会アプリ「JichiNavi」の運用を始めたことを受け、年度末の総会でその取組みを紹介したところ、当町会でも導入すべきとの意見があった。
- ・ 町会では、すでにLINE グループを活用してきた経過があり、情報伝達の速さという点で、デジタル化の有効性は確認されていた。

経過・取組内容

- ・ 上記の総会において、出席者から様々な意見が示される中、R7年度からの導入を目指し、前向きに検討することが決定した。
- ・ 導入に当たっては、より多くの住民に利用してもらうために、スマホへのアプリのインストール等を支援する講習会（2回）を開催し、町会内での周知を図った。
- ・ 現在「JichiNavi」は、およそ次のような用途に利用している。

- ① 町会及び公民館行事、隣組の清掃当番の日程連絡
- ② 松本市、和田地区、町会からのお便りのアプリ内での閲覧（紙配布の削減）
- ③ 各行事への参加アンケート
- ④ 施設予約（公民館・作業所等）
- ⑤ 町会への情報提供（イベントへのお誘い、防犯情報など）
- ⑥ 町会、公民館活動への意見収集
- ⑦ 災害時安否確認（要救助者情報の集約）

- ・ 「JichiNavi」は専用アプリのため、公私との区別がつけやすいというメリットもある。
- ・ なお、導入に係る諸経費には、市の地域チャレンジ応援事業補助金を活用した。

成果・今後の展望等

- ・ 登録者数は、66 世帯（実居住世帯）中 31 世帯で、登録率は 47.0％（R8.1 月現在）となっている。
- ・ 今後更に普及を図っていくためには、スマホの扱いに慣れていない人にも登録・利用してもらうための工夫が必要。
- ・ 運用を持続可能にするため、役員交代に左右されない常設組織として、「情報部」の立上げを検討している。

「JichiNavi」
の操作画面

【ポイント】

- ▼ 多機能な専用アプリの導入により、町会運営全般を効率化